

新日本新聞

シネスコ版

133 左端トフヘ
道新石44 全配館輝く優勝

高新石12 (左端同)

No. 294

34.9. 4

P有

新学期

東京・埼玉

きょうから新学期、真黒に日やけした子供たちは宿題をかかえ元気に登校しました。休み中チエをしぼった宿題を先生にほめてもらおうと大はりきりです。
子供たちが帰ったあと、早速先生方も二年越の宿題、勤評反対交渉をはじめました。
また、東京墨田の教育委員会へは先生たちが、勤評提出をめぐって集団陳情。埼玉県所沢では、佐藤教育長が組合との約束を破つたため一もんちやく。こうして今年には組合専従者の制限もからんで新学期は早くも波乱を呼んでいます。

週間話題

★石橋さん中共へのり出す

東京

この程中共から招かれた石橋元首相が八月三十一日岸総理を訪れました。
こうして保守党からの中共訪問は、はじめてだけにその成果が注目を集めています。

★白紙になつた政党支持 総評大会

東京

占領軍の申し子として総評が生れて今年で十年。その定期大会が八月二十六日から東京で行われました。大会の焦点である「政党との関係」では「社共両党を支持」する反主流派と「社会党を支持し共産党とは問題ごとに共闘する」という主流派が互に譲らず結局採決の結果、政党支持は空白のまま、安保条約と取組むことになりました。

★二つの裁判

東京・三重

先きに最高裁で差戻しになつた松川事件の関係書類がトラック一台に、満載され、仙台高裁へ送られました。
一方、三重県津地裁では世間を騒がせた7革命団山岸団の初公判が八月二十八日ひらかれました。脅迫、不法監禁の疑いによる十二名の被告はそれぞれ罪状を否認しましたが、人権問題にまで引きおこした裁判のなりゆきが注目されています。

カメラ・スケッチ

ペナントのかけに

大づめ間近いプロ野球ペナントレースは連日汗まみれ。そのかけに二軍選手は華やかな明日を夢見ながら猛訓練。この中には一軍から二軍へ鍛えられる選手レスリングからプロ野球へ飛び込んでまだ隔の目をみない選手もいます。これとは逆に実力だけで今年も売り出した選手は新人王候補として脚光を浴びるきびしい勝負の世界。三百勝へ足ぶみする別所、振はない金田投手など、ベテランの中にも悩みはあります。三日天下でまた首位を奪はれた大毎にとつて山内の負傷は大打撃、東映の山本選手はやつと許されてこちらは再出発です。華やかなペナントレースのかけの今年の表情です。

名志屋
100
100
100
100